

**期待の自動車整備士**小林^{こうすけ}宏丞さん(下竹田)

今年成人式を迎えた宏丞さん。子どもの頃から車が大好きで、中学校の職場体験でも訪れ「ここで働けたらいいな」と思っていた森井自動車株式会社で現在働いています。

成人式で再会した同級生の多くは学生ですが、まさに『天職』と言えるこの仕事に決め、ひと足先に社会人となり入社2年目。経験豊富な先輩社員の方々から、時には厳しい指導を受けながら、日々腕を磨いています。これからは多くの資格を取得して、一人前の自動車整備士になることが目標！

(9月4日 森井自動車株式会社 整備工場にて)

働姿

告知板

総合文化祭

～学びの成果を発表してみませんか～

展示発表、芸能発表の参加者およびワークショップの発表者を募集しています。今年の開催日は、10月31日(土)、11月1日(日)です。

申し込みは10月5日(月)までに、山形村公民館(トレセン内 ☎98-3155)へ。

第67回村民運動会

- 【開催日】10月11日(日)雨天中止
- 【会場】トレーニングセンターグラウンド
- 【時間】午前8時30分 点呼終了
子どもからお年寄りまで
出て楽しい。見て楽しい。
そんな競技がいっぱいです。

親子卓球教室開催のお知らせ

- 日時：11月4日・11月11日・11月18日
11月25日・12月2日 毎週水曜日全5回
午後7時30分～午後9時まで
- 場所：トレーニングセンター
体育館
- 対象：村内在住の親子(小学校高学年以上)
- 参加料：500円(ボール代として)
- 申込期間：10月1日(木)～10月28日(水)まで
詳細は、山形村教育委員会まで



信濃山形 サイクルロードレース

限界への挑戦

9月13日(日)、猛暑続きの夏から台風シーズン到来と共にすっかり秋めいた清水高原で「信濃山形清水高原サイクルロードレース・全日本学生ロードレースシリーズ第8戦山形村ヒルクライムラウンド」が全国から85名のアスリートたちを迎え開催されました。距離6.5km、高低差500mのコースを3回登坂するこのラウンドは、毎年参加選手の限界が試される過酷なものとなりますが、高原特有の澄んだ空気と、時折日が差す絶好のコンディションの中、トップグループの好記録に沸くレースとなりました。

信濃山形水泳大会

9月5日(土)、山形村B&G海洋センターで第29回信濃山形水泳大会が行われ、村内外から39人が参加しました。当日は薄曇りで水温が低く、肌寒い条件でしたが、出場した保育園児から大人までの選手のみなさんは、夏の練習の成果を存分に発揮しました。プールサイドに陣取った家族から声援が飛び、2つの大会新記録も生まれた充実した大会でした。この大会で今シーズンのB&Gプールの営業は終了しました。



- 【結果】
- 優勝 上條 章彦さん
- 準優勝 大池 徑さん
- 第3位 小笠原正敏さん
- ベスグロ
- 男性 小林 宣章さん
- 女性 川上 幸子さん

9月2日(水)、第18回山形村民ゴルフ大会が豊科カントリー倶楽部にて行われました。開始直後こそあいにくの雨模様でしたが、参加者156名の熱い気持ちで勝利、雨雲もどこかへ吹き飛びました。

村民ゴルフ大会



山すそ

伝統ある山形村編集委員となつて3年目を迎え、4年間と言われる任期中に自分が携われる館報はあと19回。その間に

この山すそ、何回担当することになるのだろう。編集部の猛者たちが己の個性を出すため寝る間も惜しみ書き上げる渾身のコラム(チヨツと大袈裟でしょうか)自分は思いの丈を表現できているだろうか? いや。引退までに書いておかなければならないことが一つある。俺は「山すそ」のタイトル文字が大好きだ。子供の頃、親父が一杯飲みながら読んでいた館報の中にその文字が紙面に躍っていたことを鮮明に覚えている。力強く、どこか愛嬌のあるデザイン、なかなか描けるモンじゃない。この文字を眺めていると、創刊当時タバコ臭い部屋にこもり、将来の山形村を想いつつ必死で原稿を書き上げる当時の編集委員たちの姿が目につく。時代と共に変貌を続ける館報。しかし編集部魂と山すその文字は変わらず館報の顔として継承されることを望んでやまない。

図書館からのお知らせ

文化祭のイベント
 10月31日(土)は木のしおり作り。
 11月1日(日)はミニノート作り。
 おでかけください。
 毎年好評「リサイクルブック」今年もやります。図書館の除籍本、雑誌、皆さんから寄せられた本を提供します。ただいまリサイクル用の本を募集中。ご家庭に不要な本がありましたら、図書館までご連絡ください。
 図書館休館のお知らせ
 10月11日(日)は村民運動会のため休館です。
 秋の読書週間(10/27~11/9)
 今年も山雅の選手のしおりをプレゼントします。期間限定なのでお見逃しなく。

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK No.21

編集=山形村図書館



鈴木さんのお手本を見つめる参加者。真剣なまなざしです。

笑顔ひろがる製本講座
 ～和綴じ本に挑戦～
 昨年大好評だった製本講座ですが、「来年は和綴じに挑戦だ」という声が今回実現しました。
 9月5日(土)のふるさと大ホール21名の参加者で始まりました。講師は図書館ではおなじみ小坂の鈴木信さんです。材料をすべて用意していただき、2時間で2作品作りましょうというサービス精神満

点！の講座です。
 和綴じ本は、好みの表紙用の布を選び、表紙になる厚紙を挟んでのり付けします。これを表紙と裏表紙の2枚を作り、中味になる冊子を組み込んでおきます。
 千枚通しであけた4つの穴に、好みの色の麻糸を通して綴じていきます。人生の節目になぞらえて手慣れた手つきで糸を通していく鈴木さん。「こは肝心なところ、きゅっと締める」「ここからは人生の折り返し」など軽妙な口調と手さばきに、一同「ほあ」とため息。何度もお手本を見せてもらいながらコツをつかんだ人に教わりや麻糸の色の組み合わせで、その人らしい1冊が出来上がりました。「これに遺言を書くつもりなの」「今度の敬老の日に親にプレゼントしようかな」
 顔を見合わせれば笑顔がこぼれる、本当にたのしい時間でした。



「次はどこに糸を通すの？」
「ここを通して、きゅっと締める」

「絵本であそぼ」のおしらせ
 秋編「木の実のリース作り」
 日時 10月24日(土) 10時～12時
 場所 トレーニングセンター食堂
 費用 500円
 定員 20組
 いろいろな秋の木の実に、あなただけのリースを作りませんか？

私の一冊

図書館利用者 安田美和
 『イワンの馬鹿』 レフ・トルストイ著
 「ただひとつ、イワンの国には習慣があつて、手にたこのある者は食卓についていいが、たこのない者は、人の食べ残しを食べねばならないのです。」幼い頃読んだ『イワンの馬鹿』のこの一節は子ども心に大きな衝撃で、「ちゃんと働かないとご飯を食べちゃいけないんだ」という刷り込みとなつた(自分が働き者になつたかどうかはさておき)。楽しい民話であると同時に、大人もぜひ読みたい物語。イワンの二人の兄、軍人のセミヨンと布袋腹のタラス、そして兄弟を唆す悪魔こそが幅をきかす世の中の国は
 夢物語
 かも知れないが。



おすすめ新着本紹介

『高校生のための東大授業ライブラリー』 東京大学教養学部編
 東大の「高校生のための金曜特別講座」の講義内容をまとめた1冊
 「学問」の世界は広くて、深い。
 『百年のしごと』 塩沢楳
 百年続く会社に学ぶ、未来を生き抜くヒント。あの商品にアツと驚くストーリーが……。
 『目でみることば』 おかべたかし
 ことばの由来や語源を写真で紹介していくシリーズ。
 『ことらちゃんの冒険』 深沢紅子
 猫の「ことらちゃん」が巻き起こす小さな大冒険！
 石井桃子の幻のねこ絵本の復刊。
 『楽しく作るう 手作り万華鏡』 身近な材料で、自分だけの万華鏡が作れます。
 大活字本
 『碇星』 吉村昭
 『花の歳月』 宮城谷昌光
 C D
 『キクキクラクゴ』 林家木久蔵
 朗読『放浪記』 林芙美子



山形村地震総合防災訓練

〜万が一の事態に備えて〜

9月6日(日)、毎年開催されている「山形村地震総合防災訓練」が行われました。避難訓練後は各地区でそれぞれ講習会等を企画し、充実した訓練となりました。また、午後には山形村消防団の防災訓練も行われ、松本広域消防局の職員指導の下、真剣に訓練に取り組んでいました。



病院勤務団員による人工呼吸と心臓マッサージ



ぞくぞくと避難場所へ集まってきました



毛布を使った簡易担架



ジャッキ等を使いがれきの下になった方の救助訓練



骨折したところの前後2カ所の関節をしっかり固定する

松本広域消防局山形消防署の職員の方に、いくつかの質問に答えて頂きました。

(備えについて)

村(行政)として、やるべき(やってほしい)ことはありますか？

防災に関して多面的にかかわること。

国、県からの支援を地域住民につなげるためのシステムの構築

地区(隣近所)で、やるべき(やってほしい)ことはありますか？

顔の見える関係を作る。災害弱者支援について。

家族や個人で、やるべき(やってほしい)ことはありますか？

家具等の転倒防止器具の設置。

落下物、転倒するものがないところでの就寝。

意外と見落としがちな備え(訓練や心構え、確認事項)や常備品などがあれば教えて下さい。

持病により薬を服用している人は少しでも余分に持

っていた方が良いのでは。キッチンやバルコニーにいたら、すぐその場から離れる。

本棚やタンス、食器棚が倒れる方向に逃げない。

(災害の脅威について)

実際、自然災害現場に行き強く感じたことを聞かせて下さい。

我々は、災害現場で任務を遂行し、活動が終了すれば勤務地に帰りますが、被災された方は、それ以降も災害現場で生活していかなければならぬことに関して、考えさせられました。

災害(火災も含め)が実際に起きてしまつてからの我々住民の行動について

火災は消火器で消せるものであれば、初期消火。ダメな場合はすぐに避難し、119番通報してください。

地震の場合、大きな地震の場合は、先ず身を守ることを考えてください。火の始末は揺れがおさまってから。



その後、家族で決めた集会所へ移動してください。

(その他)

住民に何か伝えたいことがありましたら、お聞かせ下さい。

自分の身は自分で守って下さい。

自助・近助(大切です)・互助・公助

最近では、9月に茨城県・栃木県を記録的集中豪雨が襲い鬼怒川が氾濫し、田畑・住宅地であらゆるものを押し流し、住宅の屋根・店舗の屋上に取り残された住民を、自衛隊などの救助隊がヘリコプターで救出していく姿は、まだ記憶に新しいところです。

いつ訪れるかわからない自然災害……。そんな災害に直面した時に正しい判断をするためには、日頃の訓練や心構えが重要になるかと思えます。毎年1回のこの訓練を機に、今一度一人ひとりが災害について考え、そして家族や地域で話し合ってみてはいかがでしょうか？

ダイエット

女性はなぜ失敗しやすい？
 食に近いところにいる（笑）
 年齢とともに開き直りやすい（笑）



即効性...
 そんなものではありません！
 運動で痩せるのは難しい。自分に合う量の食事をとり時間をかけて体重を落とす。美味しいものは敵ではなく、もったいない気持ちが敵でなんです。

8月22日(土)、トレーニングセンターで健康のつどいが開催されました。午前の部は記憶力や体脂肪などの健康チェック、お家の味噌汁の塩分測定、松本大学による栄養相談が行われました。午後の部は自宅で簡単にできる健康体操の指導や、「ためしてガッテン」演出担当デスクの北折一さんの講演会があり、「元気で長生きできちゃおう裏技」や、「インチキダイエットの見破り方」など、笑いを交え常識の逆転話で会場を沸かせました。

山形村で「健康のつどい」



塩分チェック



ストレスチェック



足指力チェック

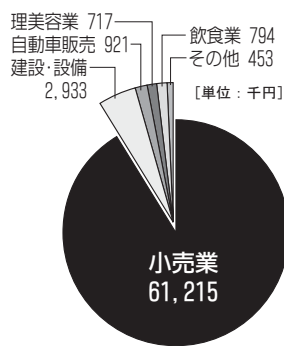


しこふみ体操

今年の夏、日本中で話題となった「プレミアム商品券」。山形村でも7,500セット90,000千円分の商品券が予約販売と一般販売に分けて販売され、一般販売の27.5セットは約20分で完売するなど順調に販売された。利用期限まで約1ヶ月となった現在、どのようなものにくらべられるか調べてみた。

使用期限は11月1日まで
プレミアム商品券

ご覧のとおり、総売上金額に対して約7割が食品、生活雑貨、家電などを中心とした小売業で使用されている。消費者は、生活に密着している食品、生活雑貨に多くの商品券を使用し、家電などはこの機会に買って「おこう」というものに限定されているのではないだろうか。販売時期にはマスコミ報道が毎日のようになされ、盛り上がったプレミアム商品券も、いざ使うとなると日々の生活の足しになつていくのが現実のようだ。この商品券の使用期限が11月1日だということを忘れず使い切り、少しでも地域の活性化につながることを願っています。



ここでは、プレミアム商品券（以下商品券という）が使用できるようになった、6月20日から8月末までの間に使用された商品券の利用額と目的別に9月4日現在で調べてみた。

9月9日(水)、トレーニングセンターで敬老会が行われました。保育園児からの歌のプレゼントや、カラオケやフラダンスなどで会場は盛り上がりしました。



山形村敬老会



ピアやまがた敬老祭

9月5日(土)、ピアやまがたで敬老会が行われました。利用者の発表では、「憧れのハワイ航路」「花笠音頭」の歌の披露などで大いに楽しみました。

今月の声

還暦の仲間たちと共に

平成27年度還暦を祝う会実行委員長 小口 正
(上竹田)



「やった」「凄い」「きれい」「最高」……夏の夜空に「60」が弾け、大スターマインが躍った。花火大会に参加した仲間たちからは互いに拍手喝采が上がった。「還暦同窓会をやってよかった」と感慨深い瞬間でした。何よりも今回の花火の打ち上げが、大勢の仲間たちの協力によりできたことを感謝します。

私たちは団塊の世代が過ぎた昭和29、30年生まれ。現在国会では安全保障関連法案が審議されている最中、また日本国中で賛成、反対の議論が活発となっていますが、自衛隊が発足したのが昭和29年7月でした。

今回の還暦を祝う会は、昭和42年に山形小学校を、昭和45年に鉢盛中学校を卒業した仲間92名。残念ながら5名の友がこの世を去っていました。

8月15日に還暦を祝う会を開催したところ、トレーニングセンターふるさと大ホールには村内外から40名が集まってくれました。今のように物が豊かで便利な時代ではありませんでしたが、友達と語り合い、支え合いながら楽しい日々を過ごしたことが思い出され、あっという間に当時にタイムスリップし、時の経つのも忘れ素晴らしい時間を過ごすことができました。そして、「また来年も会いましょや」、「同窓会を毎年開きましょや」という声があちこちで上がりました。

還暦という人生の節目を迎え、退職して第二の人生、まだまだ現役で仕事、親の介護など生き方はさまざまですが、今回出席できなかった仲間のためにも今後も継続して同窓会が開かれることを期待し、開村141周年目を迎え日本一明るく元気な村づくりを目指している故郷山形村に少しでも貢献できるように、還暦の仲間たちと共に歩んでいきたいと思ひます。

百瀬 麗さん(下竹田)

全国高等学校総合体育大会
少林寺拳法(組演武)出場
全国の高いレベルの演武を見て、
学ぶ事が沢山ありました。
来年もまたこの舞台に立ちたい
です。



夢の舞台で ~燃えた夏(続編)~ 私たちの特別な夏休み

『日本一元気な村』の子供たちが
夢の全国大会で躍動しました。

高安 結衣さん(上大池)

第42回全日本中学校
陸上競技選手権大会
800m、1,500m 出場
800mで予選を突破することが
でき嬉しかったです。
駅伝でも頑張りたいと思ひます。



吉池 弥鹿君(小坂)

第58回小学生中学生
全国空手道選手権大会 出場
全国大会は、緊張したけど楽し
かったです。
来年は黒帯で行けるようにがんば
りたいです。



平成27年夏、『日本一元気な村』の子どもたちは、全国の大舞台で躍動しました。結果はそれぞれでしたが、全国の並み居る強豪を相手に持てる力を発揮し、精一杯頑張りました。これからも全国、そして世界へと夢は大きく、はばたいてほしいと思ひます。

- おめでとう
- 上条 幸・89歳・小坂
 - 上條 君夫・77歳・小坂
 - 唐沢 さちへ・89歳・小坂
 - 川上 煌雅・英紀・上竹田
 - シラーク 琉翔・TIEL・上大池
 - 古畑 碧唯・真一・上竹田
 - 上條 吉真・和弘・小坂
 - 中村 天音・翔・上大池
 - 吉池 弥鹿君・早紀・上竹田

おめでとう(子・親)
風
(敬称略)

小学校PTA作業

9月13日(日)、小学校において本年度2回目のPTA作業が行われました。

今回の作業は、5年生の保護者を中心に、運動会のテント設営、生垣の剪定、新しくなった図書館の蔵書整理等を行いました。小学生のみさん、きれいになった図書館でたくさん本を読みましよう。



図書館での蔵書整理

中学校資源物回収

8月29日(土)、鉢盛中学校の生徒とPTAによる資源物回収が行われました。各地区の家庭を巡回し、アルミ缶とビール瓶を回収しました。

あいにくの雨降りでしたが、みなさんの協力で例年通り回収することができました。



資源物回収に汗

通学学舎は楽しい

テレビやゲーム機のない異年齢との共同生活の中で、「思いやること」、「助け合うこと」、「がまんすること」を学び、生きる力と社会性を養う場として開催されている「リーダー養成通学学舎」が、8月30日(日)から9月2日(水)までの3泊4日で開催されました。今年、信州大学の学生も初めて参加し、日頃学んでいる分野を、子どもたちにわかりやすく、楽しく学んでもらおうと3つのブースで特別講座を開きました。子どもたちは、偏光板で万華鏡、簡易な分光器を作ろう、煮干の解剖標本の3つに別れ、大学生からの説明を聞きながら、目を輝かせ熱心に取り組みました。学生たちは、寝食をともにしながら、生活全般の見守りや学習の支援、班ごとに立てた目標や日々の振り返りにも参加しました。理科の教員を目標とする学生たちからは、「普段子どもと接する機会がなく、子ども一人ひとりで理解度も違い、とてもいい経験になった」と話していました。また、子どもたちも親しみやすい学生との生活を楽しんでいました。



あと片付けをする子どもたち



学生の特別講座



学習支援する学生



班の目標を決める子どもたち

みんなの人権 ⑬

人権学習ばいのちの学習(その 1)

“父母に聞く戦争体験”... 平和と人権



戦後70年の今年、身近な人から戦争体験をお聞きしたり、

展示資料に触れたりして、平和の尊さについて改めて思いを強くする夏でありました。私の手元に一冊の古びた戦争体験聞き取り集があります。タイプ印刷された冊子のタイトルは、「父母に聞く戦争体験」。表紙に峠三吉の「ちちをかえせ ははをかえせ...」の詩を掲げたこの作品集は、今から35年前、昭和56(1981)年から58年にかけて北信N高校に学んでいた生徒たちが、夏休みに、家族や親族などから聞き取った貴重な戦争体験記録集です。輸送兵としてインパール作戦に参加した後、数年間の捕虜生活を余儀なくされた祖父の体験、満州鉄道に勤めていた夫とともに命がけの逃避行を体験した祖母からの聞き取り、N高校がN農学校と称していた当時の生徒だった父親の「北海道援農隊」での勤労奉仕の体験、学童疎開や父母の戦時中の食事も遊びの様子など、多方面からの聞き取り体験談が収められています。聞き取り当時56歳だったある父親は、昭和20(1945)年春、N農学校を卒業した後満州国興農部に就職しました。そして新京(長春)で訓練を受けている最中にソ連軍の空襲を受け、凄惨な逃避行の末、辛うじて日本に帰国しました。この聞き取りを書いたTさんは、まために、戦後、読書会や農事研究会など青年団活動を先立ってやってきた父に、「戦争に反対する気がありましたか」と問うています。「まったくその気はなかった」という父の返答に、「私は意外だと思ったのですが、当時の教育がそうさせたのかなと思ひ至りました。」と記しています。そんな元高校生たちも、今は親の介護や孫育てに追われる年ごろを迎えています。いつまでも「平凡で穏やかな未来」が語り合える、「へいわ」な世でありたい。それは「人権」が守られる大前提でもあります。「過去に学ばない者は、現在に盲目となる」と語ったワイツゼッカー・ドイツ連邦大統領の警句が重たく胸に響きます。「人権学習」は「平和」を大前提とした「いのちの学習」でもあります。

(H.27.9. M.H.記)



明里さん 美里さん

それぞれの道に
歩み始めています

丸山 ^{みさと}美里さん
^{あかり}明里さん

下竹田 おとめ座



成人式で

絆

KIZUNA

「あーちゃん・みーちゃん」こと明里さんと美里さんは双子の仲良し姉妹です。「双子は辛い時やうれしい時など何でも共有できて、いつも一緒に毎日楽しい」という二人ですが、チャンネル争いや服を間違えて着てしまった時など共有するべきところでは、ほぼ毎日ケンカだそうです。

顔はそっくりな二人ですが性格はというと、明里さんは「感情が顔に出してしまうわかりやすいタイプ」に対して美里さんは「クール」とのことです。違う個性で互いを高めあえる良い関係なのでしょう。

二人は生まれてから高校まで常に一緒に歩んできましたが、社会人となりそれぞれの道へ…。明里さんはサービス業の事務員、美里さんは製造業で修理担当と全く違う方向に進みました。休日が合わなくなつたのは寂しいけれど一人でいる時間が増えたのは良かったかも」と二人。

成人式を迎えた感想は「これからは大人の女性として何事にも頑張っていきたいです」という明里さんと美里さん。それぞれ自分の道を歩み始めています。

曾根原 ^{まゆ}麻由さん

下大池
みずがめ座

成人式で

パート

春と真

宮澤 ^{いちた}壱太さん

上竹田
みずがめ座



地域に貢献
頑張ります！



都会の荒波に
負けず頑張ります！

地元企業からの内定を得て就活のプレッシャーから解放された成人式は心の底から楽しめたという麻由さんは長野県短期大学・生活環境専攻の2年生。小・中・高とバスケットボールに打ち込んできたという熱血スポーツ少女も大人の女性へと成長し、小学校時代の恩師にもらった8年ぶりの学級通信とともに笑顔の1枚。「今までの恩を忘れることなく、社会の一員として地域に貢献していきたいです」と将来への希望に満ちあふれる麻由さん。周囲の期待も大きいです。

成人式では久しぶりの再会を楽しんだという壱太さんは日本工学院八王子専門学校で建築設計を学び、都内の建築関係会社への就職が内定しています。東京オリンピック関係の仕事に従事できることに期待しています。体力精神力ともに社会の波に負けないよう頑張っていきたいです。また、お金をためて両親をいろいろな所へ旅行に連れて行けたらいいなと思っています」と夢いっぱい親孝行の壱太さん。「モラルのある行動で立派な大人」を信条に大都会で頑張ります。